

第3章 もりおか交通戦略と将来道路網計画の検証結果

3-1 もりおか交通戦略の基本方針

1. もりおか交通戦略と将来道路網計画との関係

「もりおか交通戦略」では、盛岡市総合交通計画における基本方針である「自家用車利用の抑制と公共交通・自転車の利用促進」の実現に向け、概ね10年後を目標として戦略的に実施する施策の立案を行い、将来道路網計画についてはこれらを支える位置づけとした。

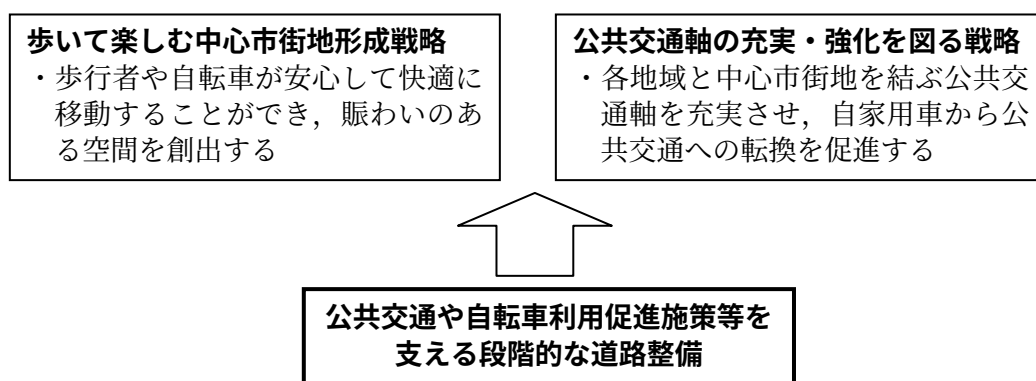


図13 もりおか交通戦略のテーマと将来道路網計画との関係

2. もりおか交通戦略の基本方針

「もりおか交通戦略」の基本方針としては、主要な各地域と中心市街地との結びつきを公共交通の軸の充実により強化し、公共交通軸を中心としたコンパクトな市街地の維持・形成を目指すとともに、現中心市街地のアクセス性及び回遊性の向上を図り、現中心市街地の活性化及び求心力の向上を目指すこととしている。

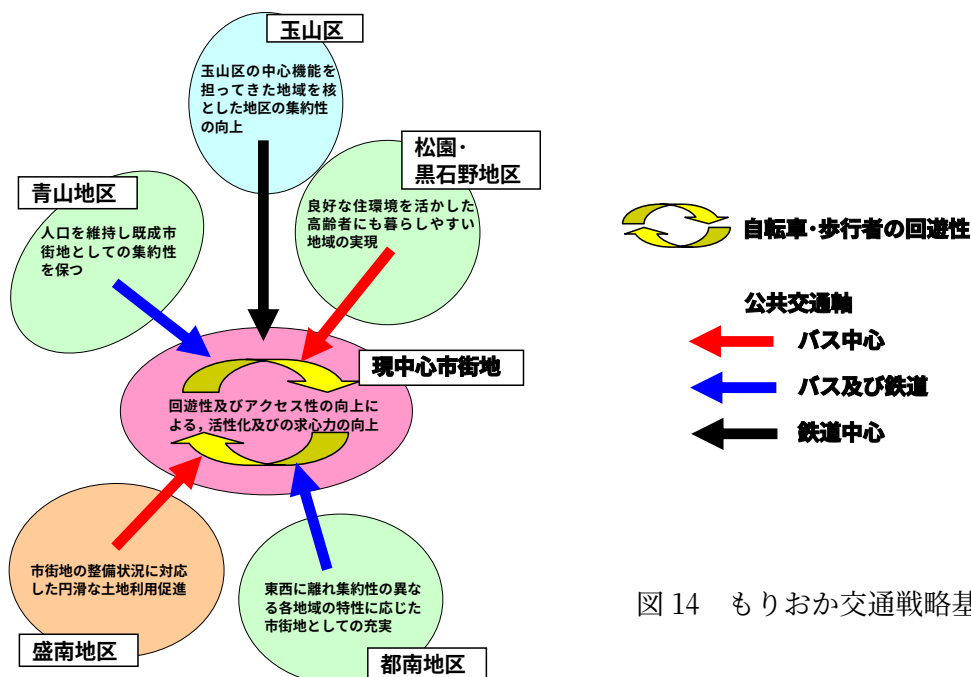


図14 もりおか交通戦略基本方針

3-2 もりおか交通戦略の施策実施方針

「もりおか交通戦略」では今後 10 年間で取組む具体施策及びその実現に必要な道路網について計画に定めており、その内容を以下に示す。

1. 歩いて楽しむ中心市街地形成戦略

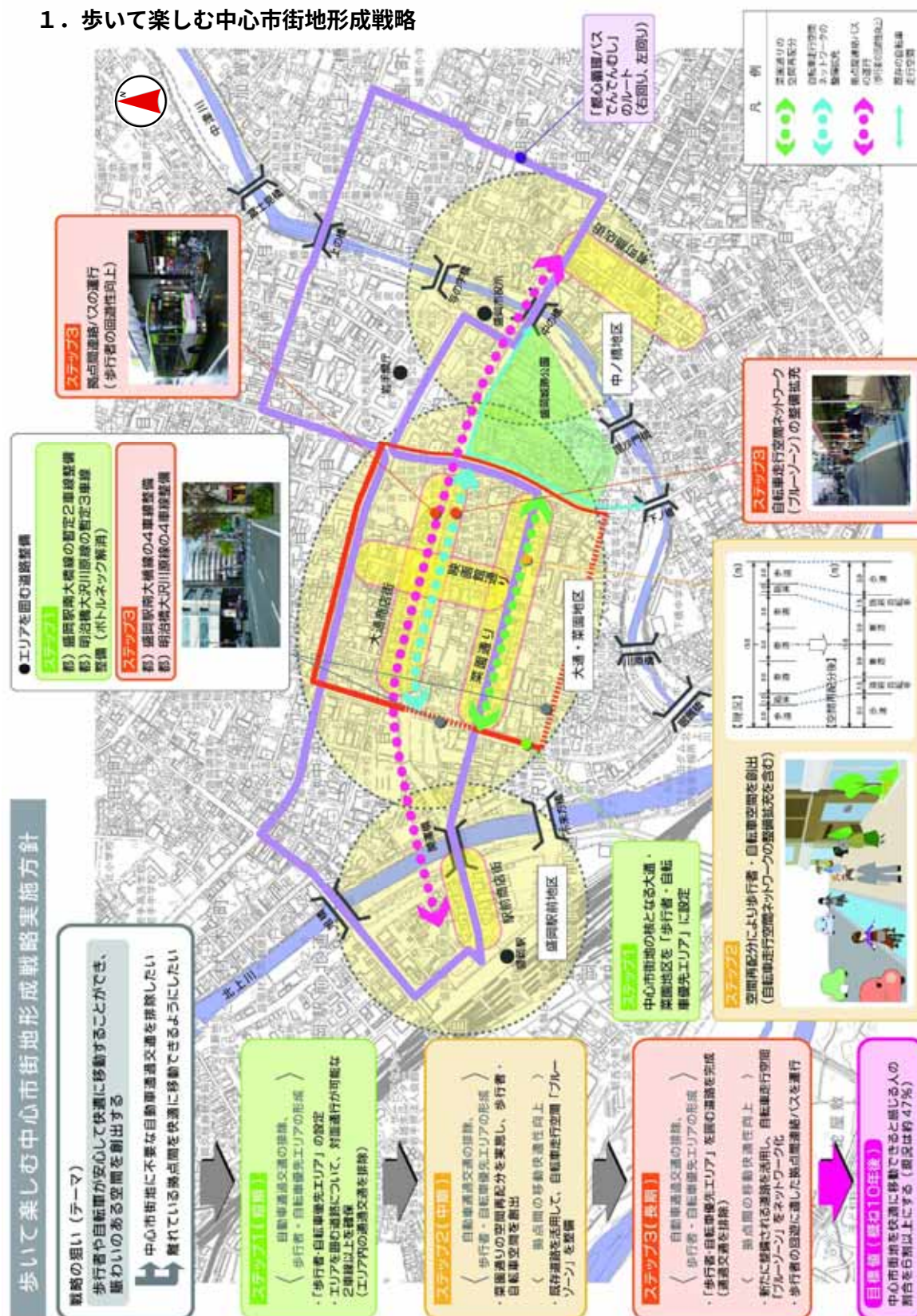


図15 歩いて楽しむ中心市街地形成戦略実施方針

2. 公共交通軸の充実・強化を図る戦略

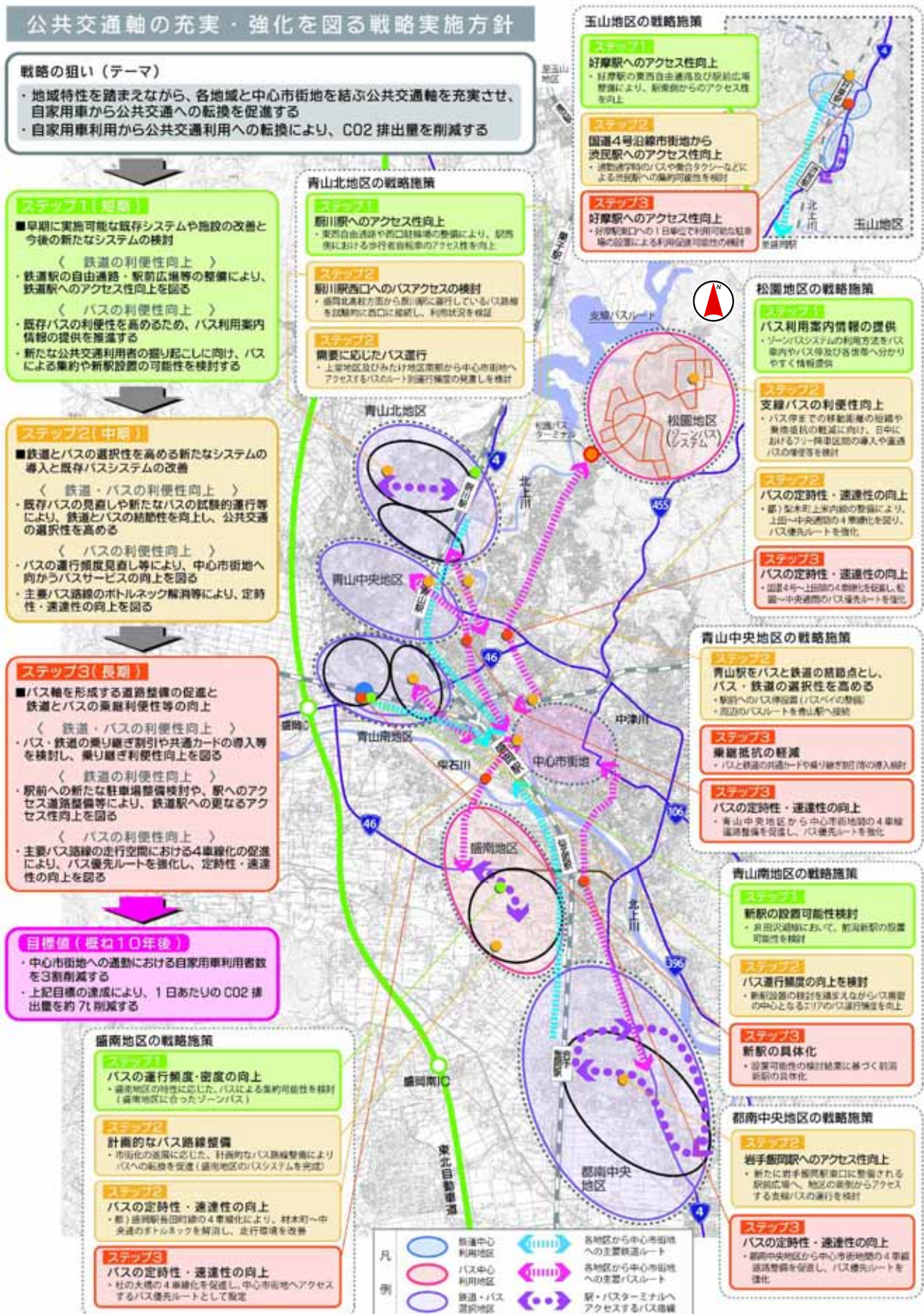


図16 公共交通軸の充実・強化を図る戦略実施方針

3-3 将来道路網計画の検証結果

1. 市街地を中心とした将来道路網計画の検証結果

「もりおか交通戦略」を支える市街地を中心とした将来道路網計画として、次のような基本的な考え方にに基づきネットワークの検討を行ったものである。図 18 に将来道路網計画の検証結果を示す。

なお、広域的な道路網については、盛岡広域都市計画区域マスタープランにおいて検討すべき内容であることから、検討の対象外としているが、検証にあたっては現計画との整合性を図るとともに、今後、広域的な道路網の見直しが行われた場合には、改めて整合性をチェックする方針としている。

将来道路網計画の検証にあたっての基本的な考え方

① 環状+放射の考え方を基本としたネットワーク

環状道路による通過交通の誘導分散及び放射道路によるアクセス性向上など、市街地内の連絡性を重視し、既定計画と同様に環状放射パターンネットワークを基本とした。

② もりおか交通戦略の施策を支えるネットワーク

・歩いて楽しむ中心市街地形成戦略を支える道路

主要施策である歩行者自転車優先エリアの形成を支えるため、同エリアを囲む道路を中心として、都心機能の集積状況も踏まえながら、これまでの計画より都心環状道路をコンパクトに設定した。また、都心環状道路をコンパクトに設定したことに伴い、市街地環状道路の位置を変更した。

・公共交通軸の充実・強化を図る戦略を支える道路

主要な各地域と中心市街地を結ぶバス路線の充実・強化を図るため、公共交通軸を形成する路線を4車線として計画した。

③ 実現性を踏まえた現況道路網の有効活用を図るネットワーク

限られた事業費の中で効果的なネットワーク形成を図るため、現況道路網を有効活用し、概ね30年程度でのネットワーク形成を踏まえた計画とした。

2. 段階的な道路網形成方針

整備に対しては、戦略施策を支える路線を中心に段階的なネットワークの形成を図る方針としている。

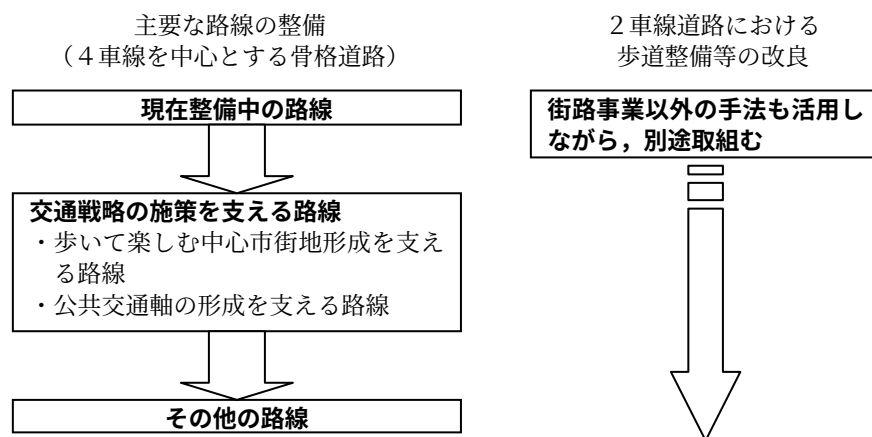


図 17 もりおか交通戦略における段階的な道路網整備の基本方針

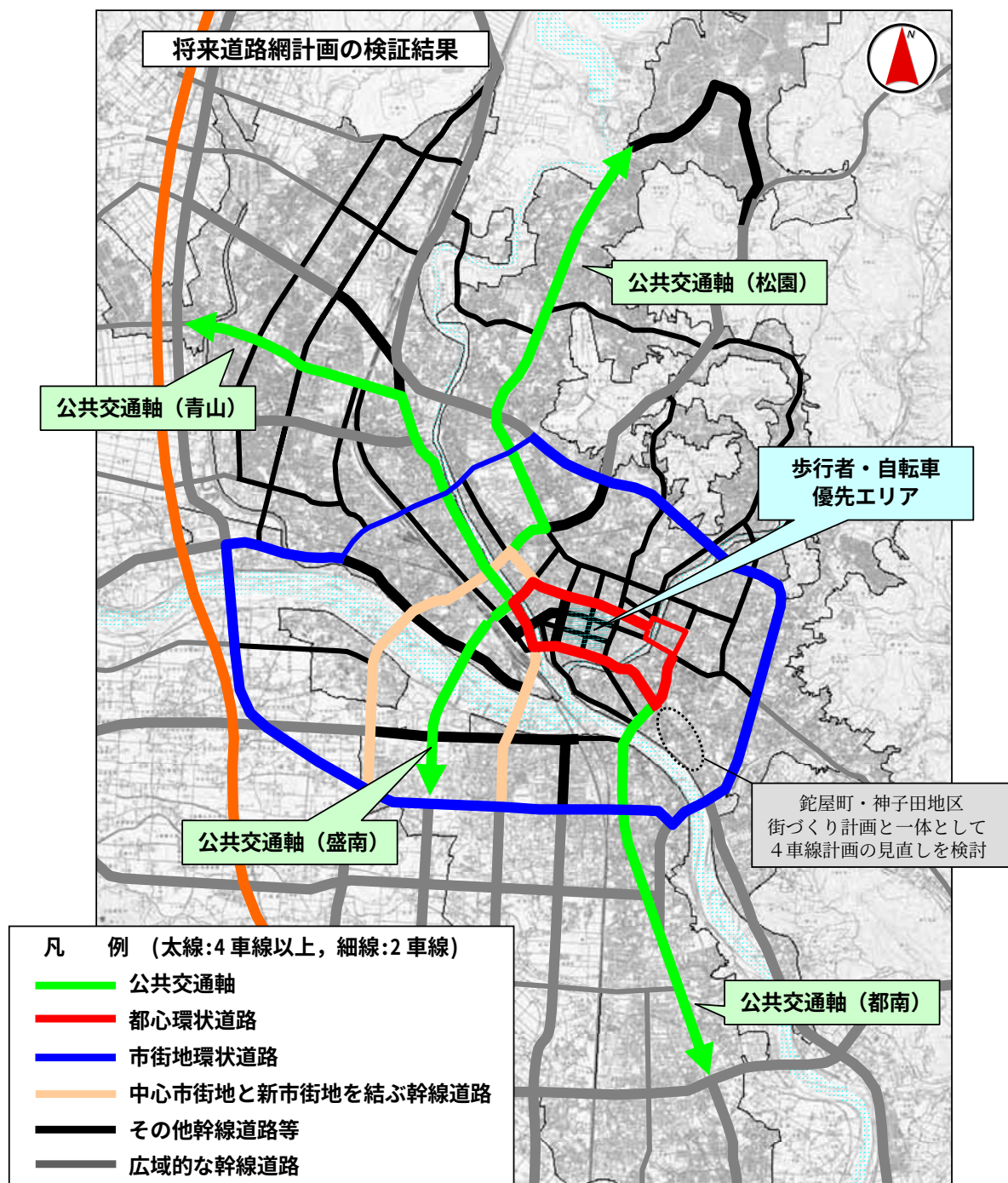


図 18 将来道路網計画の検証結果